



令和2年度

# 多北高 FRH 通信 第01号

令和2年5月12日(木)  
多北高 FRH 推進委員会  
探究推進部

多治見北高校は、今年度から岐阜県に FRH 指定を受け、FRH 事業を実施します。FRH とは「地域共創フラッグシップハイスクール (Flagship of Regional co-creation High school) のことです。本通信で、その様子を随時お知らせしていきますので、よろしくお願いたします。

## ○FRH の目的

FRH の目的は、以下のように示されています。

地域の魅力を知り、課題を発見・解決することで、地域の将来を担う当事者としての意識を向上させるとともに、グローバル化に対応するコミュニケーション能力や課題解決力等の国際的素養を身に付け、地域創生などの様々な分野で活躍できるリーダーを育成する。

## ○多治見北高校 FRH 事業実施計画

このような目的の中で、多治見北高校での FRH 事業は以下のように計画しました。

### 1 研究主題

未来を切り拓く広い視野をもち、豊かな情報発信能力を有する「グローバルリーダー」の育成

### 2 研究主題設定の理由

本校の生徒には地域社会やグローバル社会におけるリーダーとしての活躍が期待される。地域に根付いた文化やその背景となる歴史に触れると同時に他の地域環境や最先端の研究に触れることで、連綿と続く歴史の上にある未来社会という考え方、地域社会がグローバル社会へと続いているという考え方が養われる。加えて、問題解決のための基礎的汎用的能力や情報発信能力を伸ばさせることで、培ってきた知識の活用方法を身につけることができる。これらの力が十分に養われることによって、どのような環境であっても自ら先頭に立ち、未来を切り拓く力が育まれると考え、本主題を設定した。

### 3 研究計画

「グローバルリーダー」の育成のため、ボランティア活動、地域研究、高大連携、各研究機関との連携などを通して、様々な機会を生徒に提供する。それぞれの事業は、5つの柱で展開する。

発見する (Discover)	探る (Explore)	思考する (Think)	発信する (Send)	振り返る (Review)
「主体的な情報収集活動」及び「地域課題の発掘」により、地域の魅力や課題を発見する。	基礎的汎用的知識を活用し、複合的・多角的に物事をとらえ、問題解決方法を探る。	過去から未来へ、地域からグローバルへと思考を広げ、問題解決方法を思考する。	発表の場に留まらず、外国語や適切な情報発信ツールを使い、効果的に情報発信する。	自身で探究し、発信した内容を振り返り、「グローバルリーダー」として成長する。

#### 4 研究事案（令和2年度4月時点での計画）

##### ○実施予定行事（授業時間内）

1年生	2年生	3年生
進路探究発表会（全校） キャリアデザイン講演会 探究活動（全4部） （新聞・食べ物・勉強・沖縄について、「調べ学習・発表・振り返り」を行う） Exploration Day with Researchers1 （名古屋市立大・名古屋工業大・愛知県立大） 進路研究発表会（1年生） 沖縄講演・多治見研究発表会	進路探究発表会（全校） 多治見研究 英語プレゼンテーション講座 多治見研究合同発表会 Exploration Day with Researchers2 （名古屋大学） 沖縄研究 沖縄研究発表会	進路探究発表会（全校）

##### ○実施予定行事（授業時間外：土日・長期休暇中）

大学との連携	博物館等との連携	その他
名古屋大学 （理、工、農学部など） 岐阜大学 （応用生物科学部など） 中部大学 （工、人文、国際関係学部など）	サイエンスワールド 博物館明治村	乗鞍バイオーム大巡検 ロースクール座談会 研修医と語ろう エンパワーメントプログラム 海外進学座談会